

現況分析における顕著な変化に  
ついての説明書

教 育

平成22年6月

小樽商科大学

## 目 次

2. 商学研究科	1
----------	---

## 現況分析における顕著な変化についての説明書 (教育) / 研究

法人名	小樽商科大学	学部・研究科等名	商学研究科
-----	--------	----------	-------

### 1. 分析項目名又は質の向上度の事例名

分析項目V 進路・就職の状況

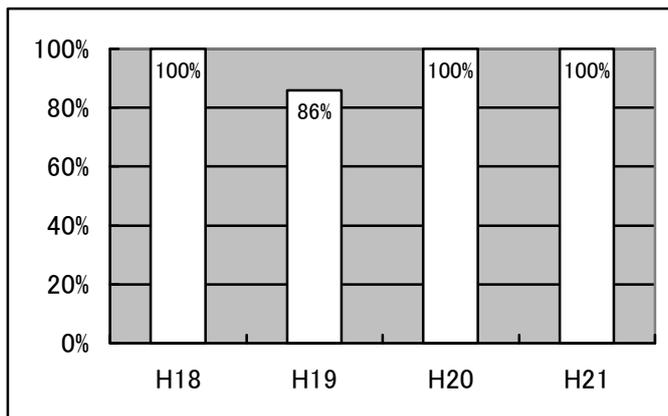
### 2. 上記1における顕著な変化のあった取組及び成果の状況, その理由

#### ○ 顕著な変化のあった観点名 : 卒業(修了)後の進路の状況

同窓会と連携した本学独自企業セミナーの開催や、1年次からの就職ガイダンス及び就職相談の実施など、学部同様に大学院の就職支援に取り組み、平成20年度(就職希望者9名)、平成21年度(就職希望者6名)の就職率はともに100%となった。【資料1】修了生は、本学で培った知識を基に、一部上場企業、会計事務所等において活躍しており、企業等から高い評価を受けている。

また、平成20年度3名、平成21年度1名の進学者のうち、2名が平成19年度に設置した本学博士後期課程(定員3名)に進学している(他2名の進学先は、神戸外国語大学、大阪市立大学)。従前は博士学位を取得するためには、他大学の博士課程に進学しなければならなかったが、本学で博士学位取得が可能となったことに対して、進学者から高い評価を得ている。

【資料1】現代商学専攻の就職率推移



#### 修了生の就職先 (H20, H21)

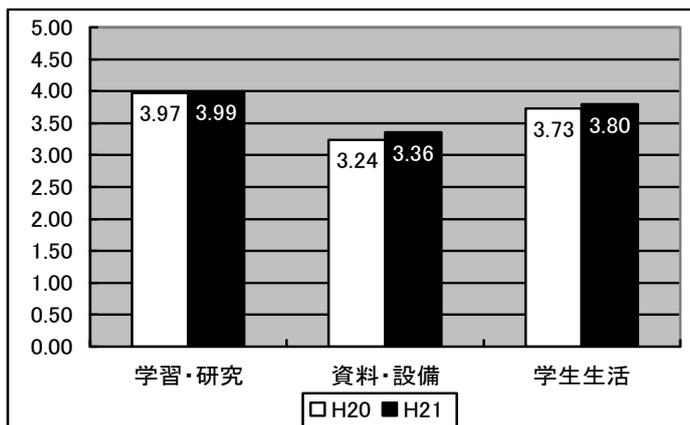
○三菱電機株式会社 ○株式会社 ジャフコ ○デジタル・ワークス株式会社 ○株式会社 ミツエーリンクス ○株式会社 ジンインターナショナル ○イオンリテール株式会社 ○鶴岡信用金庫 ○税理士法人 山田&パートナーズ ○プライスウォーターハウスクーパース株式会社 ○株式会社むらざみ経営 ○税理士法人池脇会計事務所 ○澤田会計事務所 ○株式会社 前川製作所 ○ホクレン農業協同組合連合会 ○北海道信用漁業協同組合連合会

(出典：キャリア支援課)

#### ○ 顕著な変化のあった観点名 : 関係者からの評価

平成19年度に教育体制整備にかかるアンケートを実施し、在学生から一定の評価を得ていたが、アンケートが全て自由記述形式であったため、数値による比較・分析ができなかった。平成20年度から、定量的な比較・分析が可能となるようアンケート項目を「学習・研究(6項目)」、「資料・設備(5項目)」、「学生生活(4項目)」に精選して実施した結果、【資料2】のとおり高い数値(満点5点)となっており、学生の期待に答えているものと判断する。また、平成20年度から教員に対してもアンケートを実施し、学生アンケート結果と合わせて多角的な分析を開始するなど、改善に取り組んだ。

【資料2】学生アンケート結果



#### 【アンケートの自由記述欄 (対応例等)】

- ・専修、進学類の学生はMBAの授業が履修出来たらいいと思います。(H21から履修可能)
- ・統計関連の科目を開講してほしい。(H21からアントレ専攻の授業科目を開放)
- ・大学院生にも無線LANの設備を使わせてほしい。(H22から申請により使用可能)
- ・大学院生用の自習室は素晴らしい環境であると思います。(自習室はH20に設置)
- ・学生の要望を受け入れてくれる対応の良さや、行動力は感謝しております。今後の「お金が無いなどの工夫」に期待しております。

(出典：FD活動報告書「ヘルメスの翼に」)